

宮崎大学医学部学生対象マッチング&研修説明会を開催!

宮崎大学医学部生対象の「マッチング説明会&宮崎県内基幹型臨床研修病院説明会」が、6月15日(金)17:30より宮崎大学医学部で開催されました。本学卒後臨床研修センターの小松副センター長から本年度のマッチング概要が説明された後、県内の6基幹型病院(県立宮崎/延岡/日南、古賀総合、宮崎生協、宮崎大学)の研修担当者が、約100名の参加者を前に、熱のこもった研修プログラムの説明とアピールを繰り広げました。



新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

7月24日(火)19時から宮崎観光ホテルにて、第23回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会が宮崎県医師会主催で開催されました。祝賀会は、宮崎県医師会会長のご挨拶で始まり、宮崎県知事及び宮崎大学長から激励の言葉をいただき、新研修医を代表して佐々木 朗(写真)が感謝の意と今後の抱負を述べました。また、新研修医67名(本院49名、県立宮崎病院13名、県立延岡病院3名、宮崎生協病院2名)が一人ずつ紹介され和やかな雰囲気の中終了しました。



研修医の声



Voice

1年次研修医

辻 真理子

(写真前列左)

研修医最初に第3内科で過ごした3ヶ月はかなり刺激的で、勉強の毎日でした。都心部や有名病院でないという研修ができないと思う方もいるかもしれませんが、そんなことはないと言え密度の濃い3ヶ月でした。

たくさんの患者様の担当医を任せて頂き、採血や血ガス、ルート確保などの手技はもちろん、検査オーダーや薬の処方などの治療方針も自分で考えることができました。腰椎穿刺やCVカテーテル挿入や気管支鏡検査など様々な手技も経験できました。自分が主治医だという責任感を持って、勉強するモチベーションも自然に上がりました。先生方がすごく熱心で、勉強会も多く、研究会にもたくさん参加させていただきました。

また、同期がたくさんいると様々な不安や悩みを共有でき、とても心強かったです。私達の後にもたくさんの後輩が宮崎に残ってくれることを心から希望します。

研修先で迷っている方にはぜひ宮崎大学をお勧めします!!



Voice

2年次研修医

吾郷 太介

(写真右)

早いもので臨床研修も2年目に突入し、えらそうに後輩に教えるような立場になってしまいました。ま、たいしたことは教えられませんが。

研修始まる前によく先輩に3ヶ月もすれば慣れるよといわれていたが、僕は半年くらいで慣れたように思います。初めはなにをするにしてもびくびくして今から見ればかなり挙動不振な研修医だったのではないのでしょうか。

この1年間、さまざまな科を回っているんな知識を身に付けられたと思いますが、一番自分のためになったことはさまざまな先生に出会い、その先生の考え方やポリシーなどに触れられたことだと思います。朝は6時から来て夜7時には帰る先生や暇な時間は常に勉強している先生など、ちょっとしたことで自分自身の職業観を形作るのにとってもいい肥やしになりました。いってみれば、自分はいんな先生のハイブリッドみたいなものですかね。これからもさまざまな先生に出会おうと思いますが、いい出会いであるように、また自分によりよいパーツが生まれるような出会いにしていけたらと思います。悪い部分のほうに影響されやすいですけどね(笑)



協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科紹介

協力型 国立病院機構 宮崎東病院(宮崎市)



私達は宮崎県民のために良質で高水準の医療の提供を目指しています。とくに、肺がんの専門的な治療を展開しています。臨床研修は、呼吸器内科や神経内科をはじめ、内科・腫瘍内科・心療内科・外科・小児科・放射線科など経験豊富な医師の下で行い、多くの症例を学ぶことができます。病院の更なる飛躍のためには、情熱のある若い研修医の力が必要です。大学病院にも近く、ライフ・ワークバランスのとれた宮崎東病院に是非参加してほしいものです。

協力型 小林市立病院(小林市)

当院は、西諸医療圏における中核病院に位置付けられた病床数147床の病院です。平成21年9月に新病院での診療を開始し、平成23年に臨床研修病院(協力型)の指定を受けました。研修は外科・麻酔科となり、外科では2名の日本外科学会指導医を中心に5名の医師が担当し、また麻酔科においても日本麻酔科学会指導医のマンツーマン指導が可能です。研修期間中は、病院全体で先生方をバックアップしますので外科・麻酔科に興味のある研修医の皆さん当院での研修をお待ちしています。



協力施設 迫田病院(宮崎市)

1) 病院

- a) 一般病棟 54床
- b) 重度障害者病 54床
- 2) 老健80床+
- デイケア/認知症グループホーム

3) デイケアセンター、在宅/介護支援センター、地域包 括支援センター、

訪問リハビリテーション、訪問看護ステーション、訪問ヘルパーステーション



《研修指導医および指導体制の特徴》

- 1) 地域の医療福祉の連携と在宅医療
- 2) 高齢者医療に必要なものを総合的に学べる

協力施設 宮崎県立こども療育センター(宮崎市)



当センターは「医療型障害児入所施設」及び「医療型児童発達支援センター」として位置付けられています。県内各地域に生活する障がいを持った子ども達に対して支援を行うために、医師、看護師、リハビリテーションスタッフがチームを組んで、県内各地域の支援学校、保健所、児童相談所などに向く「巡回相談」を行っています。また小児整形外科疾患の治療や、発達に問題のある子どもの評価、リハビリテーションなどを学ぶことができます。

本院 第二外科



第二外科(循環呼吸・総合外科)では、臓器別に、呼吸・縦隔・乳腺・食道外科、心臓血管外科、消化器・内分泌・一般外科の3グループでの診療を行っています。外科専門医を取得するために必要な症例は当科のみで経験できます。平成24年7月からは中村都英新教授のもと、医局員は気持ちも新たに一致団結して診療のみならず研修医研修にも力をいれています。外科に少しでも興味のある研修医のみならず、是非当科にいらしてください。

本院 小児科



小児科は感染免疫、循環器、血液腫瘍、代謝内分泌、腎、発達神経の各グループに分かれ専門的な診療を行っていますが、それらは全身を診る一般小児内科としての知識、技能の上にあります。専門性のある貴重な疾患を経験するのは勿論のこと、小児科では患児だけでなく、保護者との関わりや、診察、処方、手技など非常に特殊性があり、「医師として」必要なスキルであるため、小児科の経験は必ずお役に立てると思います。



🐠 指導医からのメッセージ



都城市郡医師会病院
岩切 弘直先生

都城市郡医師会病院循環器科、集中治療室長の岩切弘直と申します。いつも研修医の先生達に診療を手伝ってもらい、大変感謝しています。
都城市郡医師会病院は、医師、パラメディカルとのチーム医療が良好に機能している素晴らしい環境にあります。その中で研修を行うことで、医師としての自分の立ち位置を理解し、立ち振る舞いができるようになってきます。患者を目の前にして、自ら最初の一步を踏み出せる瞬間に立ち会えることは、指導医としてとても幸せなことです。
研修医の皆さん、常に貪欲でいて下さい。一緒にがんばりましょう。



県立日南病院
田代 耕盛先生 (左から2番目)

第二外科所属で、現在県立日南病院外科に勤務しています。卒後臨床研修の1期生で、小松先生や事務の方々には大変お世話になりました。研修医の先生方は、転勤の繰り返しで疲れている方もいらっしゃるかも知れません。私の研修医時代に、「研修医2年間で医者人生の中の姿勢が決まる」と教えてくれた指導医の方がいらっしゃいました。大変響くお言葉でした。私が携わった先生方には、いままで私が教わってきたことを含めてなにか一つでも得るものがあればという気持ちで共に診療しています。ぜひ、研修医時代を大事に楽しく過ごして自分の糧としていってください。



泌尿器科
分田 裕順先生 (前列右から2番目)

泌尿器科医局長の分田(わけだ)と申します。当科では例年1~5名程度の先生方が研修されています。賀本教授が赴任された3年間で入局された先生方は7名で、研修の先生だけではなく、クリクラをはじめ学生達との意見交換会と称した飲み会を行っております。指導体制は共同で患者さんを担当、終了時の目標は膀胱の内視鏡、前立腺の生検のマスターとしています。当科を研修されない先生方も見学はいつでも受け入れ可能ですので、お気軽にFCのwakedaまでご連絡ください。



中九州三大学病院合同専門医養成プログラム

平成24年度で本プログラムは最終年度を迎えます。本年も10の連携診療科を中心に合同セミナーやカンファレンス等が多数開催される予定です。随時、卒後センターより告知致しますので、ご参加・ご協力のほどお願い致します。
最後に、平成20年度から本プログラムの担当助教をしております卒後臨床研修センターの有村ですが、平成24年8月より異動することになりました。任期中で大変心苦しいのですが、宮崎大学病院に多くの若い先生方が集まり更に発展されていくことを心から願っております。

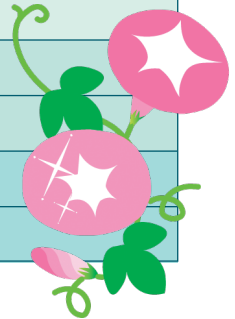
レジナビフェア 2012 in 大阪・東京

医学生を対象とした、研修説明会(レジナビフェア)が7月1日に大阪、15日に東京で開催されました。宮崎県合同のブースで、指導医の先生や、実際に研修している研修医から学生への説明を行いました。宮崎県への多くの医師確保へつながることが期待されます。

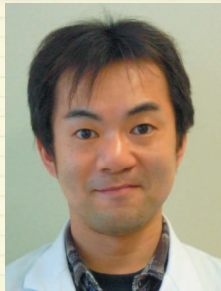


行事案内

8月	9日(木)	第1回 歯科医師臨床研修マッチング面接	宮崎大学診療科説明会 日時:9月1日(土) 19:00~ 場所:ホテルプラザ宮崎 新珠間(2階)
	20日(月)	第1回 医師臨床研修マッチング面接	
	23日(木)	第2回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	24日(金)~25日(土)	平成24年度指導医研修ワークショップ(熊本大学)	
	30日(木)	第3回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
9月	1日(土)	宮崎大学診療科説明会	
	3日(月)	第2回 医師臨床研修マッチング面接	
	13日(木)	第4回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
	20日(木)	第5回 歯科医師臨床研修マッチング面接	
10月	25日(木)	医師臨床研修マッチング決定	
	30日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定	
12月	1日(土)	ローテート説明会	
	15日(土)~16日(日)	指導医養成のための教育ワークショップ(宮崎市)	

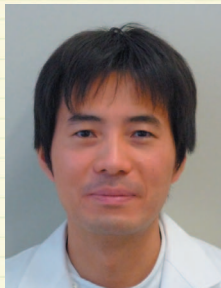


先生紹介



膠原病・感染症内科
宮内 俊一先生

鹿児島で生まれ育ち、平成8年に旧宮崎医科大学に入学して以降ずっと宮崎に留まっています。普段は膠原病・感染症内科で診療を行い、免疫感染病態学講座で研究を行い、そして平成24年4月から卒後臨床研修センター所属となりました。偉そうなことは言えませんが、経験談をもとに「こうした方が良いよ、ああするのは良くないよ」とアドバイスすることはできると思います。気軽に声をかけて下さいね。黙っていたら僕の方から声をかけるかもしれませんよ(!?)。バスケットと飲み会と医学と家族をこよなく愛する、滑舌悪い人間です。よろしく申し上げます。



第三内科
坂元 昭裕先生

この度、卒後臨床研修センターに加わらせていただきました。
平成16年に宮崎医科大学を卒業し、現行の臨床研修制度の初年度研修医として本院で研修しました。いろいろなことが手探りだったその頃の研修を懐かしく思い出すとともに、生き生きと研修されている先生方と接することができうれしく思います。
1年目研修医の皆さん、研修に慣れてきたでしょうか? 2年目研修医の皆さん、研修後の進路は決まりましたか? 何かしら皆さんのお手伝いできればと思います。よろしく願いいたします。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp